

牡蠣・魚介類等の生産額の増加に努めてまいります。

二つ目は、商工・観光産業の活性化であります。

チーム久米島（経済5団体・

町民・観光関連事業者・DMO・行政）による観光振興の取り組みを推進してまいります。

コロナ禍の影響が深刻化する観光、宿泊、飲食業を営む

中小事業者などに対し支援策を講じ、町民生活と地域経済の立て直しを図つてまいります。他にもコロナの影響を

受け実施が見送られてきたプロ野球や野球を中心としたアマチュアスポーツの合宿、そして大会誘致にも取り組んでまいります。併せて、航空路線拡充対策や更なる運賃負担軽減の実現に取り組んでまいります。

航空路線の拡充を含めて可能

性を検討してまいります。

商工振興については、特産品開発や販路拡大の取り組みを促進するとともに、商工業関連人材の育成について支援してまいります。

三つ目は、福祉の充実であります。

少子高齢化が進む中、高齢者が健康で生き生きと暮らせる環境の支援や若い世代が結婚しやすい環境づくりの支

援、次世代を担う子どもを産み育てやすい社会を構築するため、経済的な負担の軽減など様々な施策を検討し促進してまいります。

まず、喫緊の課題であります新型コロナ感染症対策及び閉鎖している歯科診療所の早期再開に向け取り組んでまいります。

母子保健では、島で出産ができる環境づくりを検討する

とともに妊産婦とそのご家族

が安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。その他にも関連する事業の充実を

図つてまいります。

子育て支援策としまして、待機児童ゼロの実現・幼保連携型認定こども園の早期実現で子育て支援体制の充実を図つてまいります。



携したネットワークを活かし、安心して生活できる環境を充実させてまいります。

四つ目は、教育の充実であ

ります。

幼稚教育・小中学校教育の充実及び久米島高校魅力化を

推進してまいります。困窮家庭には給付型奨学資金の拡充

を図つてまいります。また、前村基金・ふるさと納税資金

を活用し未来を見据えた人材育成の支援を推進してまいります。

そして、教育の一ICT化（GIGAスクール構想）を

進め、学びの変容や緊急時に

おける学びの保障ができる環境整備を推進します。

学校施設の老朽化が著しく、適切な維持管理及び安全・

快適な教育環境の整備を行つてまいります。

五つ目は、公共事業の安定化であります。

町発注の公共事業は地元企

業への優先発注を行います。

他にも新たな公共事業の建設

計画を加速してまいります。

そして、公共事業資材の県内

産・地元産品の優先使用を推進します。

最後に六つ目は、次世代産業の誘致です。

SDGsの基本理念に基づき、海洋温度差発電の実用化

や太陽光発電設備の設置等で町内での再生可能エネルギーの普及・啓発を促進するため、官民連携を推進します。そして、再生可能エネルギー（海

洋温度差発電・太陽光発電）を利用したEV（電気自動車）や超小型電気自動車など、次世代モビリティの導入を促進します。



以上、私の所信を述べて参りましたが、久米島町は、これまで多くの課題を抱える中で、その解決に向けた改革に取り組んでまいりました。それは決して平坦な道のりではなく、乗り越えていかなければならぬ苦難も少なくなかつたと思います。

現在の町政を取り巻く環境も、少子高齢化、人口減少社会の進行に加え、新型コロナウイルス感染症対策や公共施設の老朽化など多くの課題が山積しております。そのような中にあっても、私が町政運営にあたり、常に心掛けたいのは「後世に負の遺産はできるだけ残さない」精神です。一つ一つの課題に誠実に取り組み努力すれば、必ず解決できると考えております。そして、すべての子どもが希望をもてるような魅力的な久米島町を創造するため、強い決意を持って取り組んでまいりますので、町民の皆様、並びに議員各位におかれましては、ご理解とご協力をよろしくお願い申しあげます。

企業誘致については、島の資源（海洋深層水）を活用し、研究機関や新規企業の誘致を促進してまいります。

特に早急に取り組まなければいけないものとして、歯科診療所の早期再開、海洋深層水取水量の拡大、学校給食センターの整備、ごみ焼却施設の整備、認定こども園の整備、バーデハウス久米島の再生を掲げております。



子どもの肥満対策、成人・高齢者の健康診断、保健指導を充実させるため医療機関と連携を強化してまいります。

他にも、障がい者の自立支援、生活困窮者等対策、福祉施設等への支援など地域と連

絡を強化してまいります。

最後に六つ目は、次世代産業の誘致です。

SDGsの基本理念に基づき、海洋温度差発電の実用化